

## 旧国基準から追加された項目

XMLの記入項目について、最新版の国基準の中で旧国基準（平成16年～平成19年）から追加・変更・削除となった項目を抽出した。

新規で追加されたものを青で、削除されたものを黄色で色付けした。

### 土木設計業務等の電子納品要領の管理項目の変更点

土木

農業土木

業務管理項目				
分類・項目名		変更点	必須記入	
基礎情報	メディア番号		「オンライン電子納品の場合は0とする。」の追加	○
	メディア総枚数		「オンライン電子納品の場合は0とする。」の追加	○
	公開用成果品フォルダ名		【新規追加】 公開用成果品を格納するために「OPENREP」フォルダを作成した場合はフォルダ名称（OPENREPで固定）を記入する。	
	台帳フォルダ名		【新規追加】 台帳データを格納するためのフォルダ名称「REGISTER」フォルダを作成した場合はフォルダ名称（REGISTERで固定）を記入する。	
	台帳オリジナルファイルフォルダ情報	台帳オリジナルファイルフォルダ名	【新規追加】 台帳オリジナルファイルを格納するフォルダ名称（REGISTER/ORG001～nnn）を記入する（nnnは連番を示す）。台帳オリジナルファイルフォルダがある場合は必ず記入する。	台帳オリジナルファイルが無ければ不要
		台帳オリジナルファイルフォルダ日本語名	【新規追加】 台帳オリジナルファイルを格納するフォルダの日本語名称を記入する。	台帳オリジナルファイルが無ければ不要
	ICONフォルダ名		【新規追加】 i-Constructionデータを格納するためのフォルダ名称（ICONで固定）を記入する。	
BIMCIMフォルダ名		【新規追加】 BIMCIMデータを格納するためのフォルダ名称（BIMCIMで固定）を記入する。		
業務件名等	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">土木</div> 業務実績システムバージョン番号		記入内容変更：「管理項目の記入で参照しているTECRISのマニュアル(コード表)のバージョン(システムのバージョン)を記入する。」→「国土交通省「電子納品に関する要領・基準」Webサイトを参照し記入する。」	○
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">農業土木</div> 業務実績システムバージョン番号		記入内容変更：「管理項目の記入で参照しているTECRISのマニュアル(コード表)のバージョン(システムのバージョン)を記入する。」→「AGRIS 業務実績入力システム起動画面に記載のシステムバージョン番号を記入する。」	○
場所情報	測地系		「世界測地系(JGD2011)」「世界測地系(JGD2011)は「02」」の追加	
	水系-路線情報	対象水系路線名	「複数の水系・路線にまたがる業務の場合、関連する水系・路線名を記入する。当該情報が複数ある場合の記入方法は付属資料3を参照のこと。」の追加	

施設情報	施設コード		【新規追加】 施設コードを記入する。 (0101)橋梁、(0102)横断歩道橋、(0103)トンネル、(0104)シェッド、(0105)大型カルバート、(0106)門型標識等、(0199)その他(道路分野)、(0201)ダム、(0202)砂防、(0203)災害復旧、(0204)堤防、(0205)水門、(0206)河川、(0207)樋門・樋管、(0208)河川構造物、(0299)その他(河川分野)、(0501)直轄砂防施設、(0599)その他(砂防)、(0601)都市公園、(0699)その他(公園)、(9999)その他(上記4分野以外の施設) 対象施設が存在しない場合は、「0」と記入する。	○
	施設名称		「施設が複数存在する場合は、半角カンマで区切って記入する。施設が存在しない場合は、「なし」と記入する。」の追加 必要度変更：○→◎	○
	測地系		【新規追加】 日本測地系(旧測地系)、世界測地系(JGD2000, JGD2011)の区分コードを記入する。日本測地系は「00」、世界測地系(JGD2000)は「01」、世界測地系(JGD2011)は「02」を記入する。対象施設が存在しない場合は、「99」と記入する。	○
	緯度経度	施設情報 緯度	【新規追加】 施設の代表点の緯度を記入する。 度(4桁)分(2桁)秒(2桁) 対象領域が南緯の場合は、頭文字に「-」(HYPHEN-MINUS)を含み4桁とする。	
		施設情報 経度	【新規追加】 施設の代表点の経度を記入する。 度(4桁)分(2桁)秒(2桁) 対象領域が西経の場合は、頭文字に「-」(HYPHEN-MINUS)を含み4桁とする。	
	平面直角座標	施設情報 平面直角座標番号	【新規追加】 施設の代表点の平面直角座標(19系)の系番号を記入する。 対象施設が存在しない場合は、「0」と記入する。	○
		施設情報 平面直角座標X座標	【新規追加】 施設の代表点の平面直角座標(19系)をX座標で記入する。(m) 対象施設が存在しない場合は、「0」と記入する。	○
施設情報 平面直角座標Y座標		【新規追加】 施設の代表点の平面直角座標(19系)をY座標で記入する。(m) 対象施設が存在しない場合は、「0」と記入する。	○	
発注者情報	業務担当課	【新規追加】 業務担当課を記入する。	○	
業務情報	ICON対象	【新規追加】 ICON対象業務の場合は「1」、ICON対象業務に該当しない場合は「2」と記入する。	○	
	BIMCIM対象	【新規追加】 BIMCIM対象業務の場合は「1」、BIMCIM対象業務に該当しない場合は「2」と記入する。	○	

公開用成果品管理項目

すべて新規追加

台帳管理項目

すべて新規追加

工事完成図書電子納品等要領の管理項目の変更点

土木 農業土木

工事管理項目				
分類・項目名		変更点	必須記入	
基礎情報	メディア番号		「オンライン電子納品の場合は0とする。」の追加	○
	メディア総枚数		「オンライン電子納品の場合は0とする。」の追加	○
	台帳フォルダ名		【新規追加】 台帳データを格納するためのフォルダ名称（REGISTERで固定）を記入する。	
	台帳オリジナルファイルフォルダ情報	台帳オリジナルファイルフォルダ名	【新規追加】 台帳オリジナルファイルを格納するフォルダ名称（REGISTER/ORG001～nnn）を記入する（nnnは連番を示す）。	台帳オリジナルファイルが無ければ不要
		台帳オリジナルファイルフォルダ日本語名	【新規追加】 台帳オリジナルファイルを格納するフォルダの日本語名称を記入する。	台帳オリジナルファイルが無ければ不要
	農業土木	地質データフォルダ名	【新規追加】 地質データを格納するために「BORING」フォルダを作成した場合はフォルダ名称（BORINGで固定）を記入する。	
	ICONフォルダ名		【新規追加】 ICONデータを格納するためのフォルダ名称（ICONで固定）を記入する。	
	BIMCIMフォルダ名		【新規追加】 BIM/CIMデータを格納するためのフォルダ名称（BIMCIMで固定）を記入する。	
	発注図フォルダ名		削除	
特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名		削除		
工事件名等	工事実績システム登録番号		【新規追加】 コリンズ・テクリスセンターが発行する登録内容確認書に記載される番号を記入する。コリンズ登録番号がない工事は「0」を記入する。	○
	工事業種		記入内容変更：「工事の業種」→「本件登録工事の受注に対応した建設業許可業種」	○
	ICON対象		【新規追加】 ICON対象工事の場合は「1」、ICON対象工事に該当しない場合は「2」と記入する。	○
	BIMCIM対象		【新規追加】 BIM/CIM対象工事の場合は「1」、BIM/CIM対象工事に該当しない場合は「2」と記入する。	○
	工事実績システムバージョン番号		削除	
場所情報	測地系		「世界測地系(JGD2011)」「世界測地系(JGD2011)は「02」」の追加	○
	水系-路線情報	対象水系路線名	記入内容変更：「CORINS」→「テクリス」	

施設情報	施設コード		【新規追加】 施設コードを記入する。(0101)橋梁、(0102)横断歩道橋、(0103)トンネル、(0104)シェッド、(0105)大型カルバート、(0106)門型標識等、(0199)その他(道路分野)、(0201)ダム、(0202)砂防、(0203)災害復旧、(0204)堤防、(0205)水門、(0206)河川、(0207)樋門・樋管、(0208)河川構造物、(0299)その他(河川分野)、(0501)直轄砂防施設、(0599)その他(砂防)、(0601)都市公園、(0699)その他(公園)、(9999)その他(上記4分野以外の施設)	○
	施設名称		必要度変更：○→◎	○
	測地系		【新規追加】 日本測地系(旧測地系)、世界測地系(JGD2000、JGD2011)の区分コードを記入する。日本測地系は「00」、世界測地系(JGD2000)は「01」、世界測地系(JGD2011)は「02」を記入する。	○
	緯度経度	施設情報 緯度	【新規追加】 施設の代表点の緯度を記入する。 度(4桁)分(2桁)秒(2桁) 対象領域が南緯の場合は、頭文字に「-」(HYPHEN-MINUS)を含み4桁とする。	
		施設情報 経度	【新規追加】 施設の代表点の経度を記入する。 度(4桁)分(2桁)秒(2桁) 対象領域が西経の場合は、頭文字に「-」(HYPHEN-MINUS)を含み4桁とする。	
	平面直角座標	施設情報 平面直角座標系番号	【新規追加】 施設の代表点の平面直角座標(19系)の系番号を記入する。	○
		施設情報 平面直角座標X座標	【新規追加】 施設の代表点の平面直角座標(19系)をX座標で記入する。(m)	○
施設情報 平面直角座標Y座標		【新規追加】 施設の代表点の平面直角座標(19系)をY座標で記入する。(m)	○	
発注者情報	工事担当課		【新規追加】 工事担当課を記入する。	○

台帳管理項目	
すべて新規追加	

打合せ簿管理項目					
分類・項目名			変更点	必須記入	
打合せ簿情報	工事帳票種類		【新規追加】 「打合せ簿」「工事履行報告書」「材料確認願」「段階確認書」「確認・立会願」の工事帳票の鑑の種類を記入する。	○	
	打合せ簿種類		記入内容変更：「打合せ簿の種類」→「発議事項」「確認」「立会」「その他」の追加 「提示」の削除	○	
	管理区分		「施工計画」「施工体制」「契約変更」「その他」の追加 「出来高管理」「原価管理」「写真管理」の削除		
	オリジナルファイル情報	工種区分	工種	【新規追加】 工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル2「工種」を記入する。	
			種別	【新規追加】 工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル3「種別」を記入する。	
細別			【新規追加】 工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル4「細別」を記入する。		

CAD製図基準・電子化図面データの作成要領（案）の管理項目の変更点

土木

農業土木

図面管理項目				
分類・項目名		変更点	必須記入	
図面情報	SXFのバージョン		【新規追加】 ・SXF Ver. 2.0のデータで出力した場合は「2.0」と記入する。 ・SXF Ver. 3.0のデータで出力した場合は「3.0」と記入する。 ・SXF Ver. 3.1のデータで出力した場合は「3.1」と記入する。	○
	SAFファイル名		【新規追加】 ・SAF ファイルがない場合、もしくはSXF (P2Z) 形式の場合は「0」と記入する。SAFファイルが発生する場合は、SAFファイル名を記入する。 例) 001DOPLZ全体平面図. P21にSAFファイルが生成された場合のファイル名：001DOPLZ-全体平面図. SAF ・全角文字はユーザ定義領域に限る。	○
	ラスタファイル	ラスタファイル数	【新規追加】 図面で利用するラスタファイルの枚数を記入する。ラスタファイルを利用しない場合、もしくはSXF (P2Z) 形式の場合は「0」と記入する。	○
		ラスタファイル名	【新規追加】 ・図面で利用するラスタファイルがある場合は、全てのラスタファイル名を記入する。（複数入力可） 例) SXF Ver. 2.0の場合 001DOPLZ-全体平面図. P21に対応した1枚のラスタファイル名：001DOPLZ-全体平面図. TIF SXF Ver. 3.0以上の場合 001DOPLZ-全体平面図. P21に対応した1枚（ラスタファイル番号が1の場合）のラスタファイル名：001DOPLZ-全体平面図. 拡張子 ・全角文字はユーザ定義領域に限る。	
	基準点情報	測地系	「世界測地系 (JGD2011)」「世界測地系 (JGD2011) は「02」」の追加	○

デジタル写真管理情報基準の管理項目の変更点

土木

農業土木

写真管理項目				
分類・項目名		変更点	必須記入	
写真情報	撮影工程区分	写真区分	「事故写真」の追加	
	代表写真		「写真管理基準(案)の撮影箇所一覧表に示される提出頻度が不要以外の写真の中から」の追加 記入内容変更：「未記入とする。」→「0」を記入する。 必要度変更：○→◎	○
	提出頻度写真		【新規追加】 写真管理基準(案)の提出頻度に基づく写真である場合、「1」を記入する。それ以外の場合は「0」を記入する。	○

測量成果電子納品要領の管理項目の変更点

土木

農業土木

測量情報管理項目				
分類・項目名	変更点		必須記入	
基礎情報	助言番号（承認番号）		「ただし、該当しない場合は「99999999（8桁）」を記入する。」の追加	○
	作業規定名		【新規追加】 当該測量の基となった作業規程名を記入する。	○
	製品仕様書	製品仕様書名	【新規追加】 当該測量の基となった製品仕様書又は作業規程名を記入する。	○
		製品仕様書ファイル名	【新規追加】 製品仕様書のファイル名を記入する。対応する製品仕様書のファイルが複数ある場合は、繰返し記入する。	○
	製品仕様書名または作業規程名		削除	
	第三者機関成果検定の有無		【新規追加】 第三者機関による成果検定の実施の有無を、0又は1のコードで記入する。（0：なし、1：あり）	○
	地形測量及び写真測量成果格納用フォルダ名		分類・項目名変更：「地形測量成果格納用フォルダ名」→「地形測量及び写真測量成果格納用フォルダ名」	
	三次元点群測量成果格納用フォルダ名		【新規追加】 三次元点群測量成果を格納するフォルダ名称（SGTN で固定）を記入する。	
	その他の応用測量成果格納用フォルダ名		【新規追加】 その他の応用測量成果を格納するフォルダ名称（OTHRSOYO で固定）を記入する。	
測量情報	解像度		記入内容変更：「解像度を記入」→「地上画素寸法やグリッド間隔に相当する値を記入」	
	アナログデジタル区分		削除	
検定情報	測量成果検定証明書等のファイル名		【新規追加】 測量成果検定証明書等のファイル名を、パスを含めて記入する。測量成果検定証明書等のファイルの数だけ繰返し記入する。（例：SURVEY/KITEN/OTHR/KOTJ2nnn.PDF）	

測量成果管理項目				
分類・項目名	変更点		必須記入	
測量成果管理ファイル追加：SURV_SGT.XML、SURV_OYO.XML				
ボーリング コア写真情報	測量成果区分フォルダ名		記入内容変更：「測量成果区別（測量記録、成果データ）のフォルダ名を記入」→「測量成果区分（測量記録、測量成果、その他データ）のフォルダ名を記入」	○
	成果ファイル情報	測量成果ファイル名副題	記入内容変更：「内容が分かる程度の副題を記入」→「測量成果等のファイル名副題を、拡張子を含めて記入。製品仕様書に定められているファイル名や国土基本図の図郭に準じたファイル名などを記入」	
		XMLスキーマファイル名	【新規追加】 当該測量成果において参照するXMLスキーマファイル名を記入する。複数のXMLスキーマを参照する場合は、ファイルの数だけ繰返し記入する。	
		コードリストファイル名	【新規追加】 当該測量成果において参照するコードリストファイル名を記入する。複数のコードリストを参照する場合は、ファイルの数だけ繰返し記入する。	
		メタデータファイル名	【新規追加】 当該測量成果のメタデータファイル名を記入する。	

ドキュメント管理項目		
すべて新規追加		

地質・土質調査成果電子納品要領の管理項目の変更点

土木

農業土木

地質情報管理項目			
分類・項目名		変更点	必須記入
ボーリング情報	測地系	記入内容変更：「旧測地系は0、新測地系は1を記入」→「日本測地系は「00」、世界測地系（JGD2000）は「01」、世界測地系（JGD2011）は「02」を記入」	○
	柱状図区分	記入内容変更：「土質・岩盤・地すべり・その他」→「岩盤、土質（オールコア用）、土質（標準貫入試験用）、地すべり（オールコア用）、地すべり（標準貫入試験用）、その他」	○

ボーリングコア写真管理項目			
名称変更（全体）： 「デジタルコア写真」→「ボーリングコア写真」、「デジタルコア写真整理結果」→「連続ボーリングコア写真」			
分類・項目名		変更点	必須記入
ボーリングコア写真情報	ボーリング名	記入内容変更：「「付属資料2 標題情報」の「ボーリング名」に一致させる」→「地質情報管理項目の「ボーリング名」に一致させる」	○
	ボーリング連番	記入内容変更：「「付属資料2 標題情報」の「ボーリング連番」に一致させる」→「地質情報管理項目の「ボーリング連番」に一致させる」	○

土質試験及び地盤調査管理項目			
分類・項目名		変更点	必須記入
試験情報	フォルダ名	記入内容変更：「フォルダ名称を記入」→「ボーリング及びサイトごとのサブフォルダ名称を記入」	○
	電子土質試験結果一覧表ファイル名	【新規追加】 電子土質試験結果一覧表のファイル名を記入する。 （「STB0001.PDF」、「STS0002.PDF」等）	
	土質試験結果一覧表データファイル名	【新規追加】 土質試験結果一覧表データのファイル名を記入する。 （「STB0001.XML」、「STS0002.XML」等）	
	位置情報	測地系	記入内容変更：「旧測地系、新測地系の区分をコード表に従い、記入」→「日本測地系は「00」、世界測地系（JGD2000）は「01」、世界測地系（JGD2011）は「02」を記入」